

小学生の部

平成28年度 家族川柳 準入選作品

中学生の部



- ・暑すぎる 夏が来たから 休ませて 小学3年女 → 宿題 今年の夏も やりきって 母
- ・家・しごと ママにあげたい 金メダル 小学3年男 → がんばれば あなたにもきっと 金メダル 母
- ・ありがとう 日々の手伝い 助かります 母 → これからも 手伝いするよ ママのため 小学3年女
- ・宿題 スタートするの 遅くない? 母 → かけっこは いつも早いよ 父ゆずり 小学3年男
- ・夏休み 木にいるせみの こえひびく 小学3年女 → 部屋にいる 子の声ひびく 夏休み 母
- ・お父さん いつもお仕事 おつかれ様 小学3年男 → お疲れ様 その一言で がんばれます 父
- ・夏休み はじめにのんびり すぎたね 母 → しゅくだいを 来年こそは はやくする。 小学3年女
- ・ゴーグルの 日焼けの白が まぶしいな 母 → 暑い中 プールに通った しょうこだよ 小学4年女
- ・お父さん いつもお仕事 ありがとう 小学4年男 → オウ、むすこ 父のせなかを よく見とけ 父
- ・あと少し みんなドキドキ スイカ割り 父 → よし、やった! 楽しさMAX☆ 食べた時 小学4年女
- ・おとうとが セミより大きく なき出した 小学4年男 → お兄ちゃん 今こそ、きみの 出番だよ 母
- ・その黒さ 勉強しなさい 遊びすぎ 母 → 子どもには かがいじゅ業も 必要だ 小学4年女
- ・夏休み 本番近い 記録会 小学4年女 → 練習で こんがりやけた 水着あと 母
- ・高校で ポルトみたい 走りたい 小学4年男 → その夢が 叶うといいね いつまでも 母
- ・はたける じじの頭は アセデテル 祖父 → 夏休み おいらの頭は アセッテル 小学5年男
- ・合宿で 静かな我が家 夜長し 母 → ねむれない うれしさ半分 さみしさも 小学5年男
- ・ぼくと父 二人で作る 男飯 小学5年男 → 男飯 出来た料理が カップメン(笑) 父
- ・登行日 習題たくさん のこってる 小学5年男 → おどろいた 五・七・五に 誤字二つ 父
- ・剣道で がんばる姿 別人だ 母 → お母さん おこるすがたは 別人だ 小学5年女
- ・墓参り ぼくを見てね がんばるよ 小学5年男 → ばあちゃんへ 今の幸せ 手を合わす 母
- ・耳ないの? あなたに届かず 母の声 母 → 耳あるよ 長いせつきょう 聞きません 小学5年女
- ・お母さん もうすぐ身長 おいくつね 小学5年男 → ついにくる 家族で一番 低身長 母
- ・足くらべ 私の方が 大きいな 小学6年女 → 成長を ならぶ靴見て 感じてた 母
- ・知らないで 子供のゲーム やりすぎだ 小学6年女 → なにを言う 父がするから 止められる 父
- ・日だけした そのあとクッキリ のこってる 母 → 泳ぎもね そのぶん上手になったよね 小学6年女
- ・料理では いつもとなりに 母の顔 小学6年男 → 助かるよ いつも手伝い ありがとう 母
- ・いじっぱり? それともただの 反抗期? 母 → ごめんなさい いつも素直になれなくて 小学6年女
- ・いってらっしゃい みえなくなるまで 見送るね 小学6年女 → バックミラー 手を振る姿に 元気をもらう 母
- ・きこえてる 試合中でも 母の声 小学6年女 → がんばれと 気持ちものせて 声出すよ 母



- ・部活なみ ラケット持つ手に 鉛筆を 母 → 鉛筆が 重たく感じ 後回し 中学1年女
- ・反抗期 母も同じく 反抗期 母 → 反抗期 やがてくるかも 反省期 中学1年男
- ・母の声 耳に痛いが 一理ある 中学1年男 → いつの日か 分かる日が来る 親ごころ 母
- ・母さんの コケコッコーに 跳び起きる 中学1年女 → さわやかに 朝の一聲 みな元氣 祖母
- ・部活終え 我が救世主の 母が待つ 中学1年女 → まかせなさい おいしいごはんと マッサージ 母
- ・なかなかね 伝えられない ありがとう 中学2年女 → ありがとう 口に出さずも つたわるよ 母
- ・お小遣い 欲しいがために 父手伝う 中学2年女 → 知つるよ 欲しいものまで お見通し 父
- ・弁当を 作ってだけは 甘え声 母 → 勉強を しなさいだけは 怒り声 中学2年男
- ・宿題の 計画バッチリ! 夏休み 中学2年男 → 宿題は 計画だけじゃ 終わらない 母
- ・汗くさい 道着の洗濯 感謝します 中学2年女 → くさい分 あなたのがんばり 感じます 母
- ・ゲームして いつもおこられ むつとする 中学3年男 → その態度 みるたびも ムツとする 母
- ・怒られる たびに成長 ありがとう 中学3年女 → 怒るたび 心が痛む 母ごころ 母
- ・夏休み 私は真っ黒 ノート白 中学3年女 → 焦ろうよ 自覚ないのは 自分だけ 父
- ・なぜなんだ 僕のやる気は どこ行った 中学3年男 → どうしよう 探したけれど みつからん 母
- ・この夏は 勉強ばかりで しんどいよ 中学3年女 → しんどいね でも乗り切れば 夢見えてくる 母
- ・ゲームより えんぴつ持ちなよ 受験生 父 → そっちこそ つりざお持たずに 家事やれよ 中学3年男

高校生の部



- ・テスト後の 家族で分析 ありがたい 高校1年男 → 対策の 意見が分かれ ごめんなさい 父
- ・洗濯は さかむけ ひび割れ 超痛い 高校1年男 → おや息子 してもないので なぜわかる 母
- ・勉強中? スマホで検索? ゲームかよ!! 母 → 違います!! 漢検アプリで 勉強中!! 高校1年男
- ・離れてよ 一人で見たい 流星群 高校1年男 → いいじゃない 一緒に見ようよ 流星群 母
- ・なんでだろう 母の応援 勇気でる 高校1年男 → 結果より 頑張る姿に 涙出る 母
- ・行きにぎやか プールの帰りは みな爆睡 父 → ねむいけど 安全運転 最後まで 高校1年女
- ・光る汗 部活がんばり 黒い肌 高校2年男 → 見てわかる がんばる姿 目に浮かぶ 母
- ・おかあさん いつもおしごと ごくろうさま 高校2年女 → その気持ち からだでもっと あらわして 母
- ・ラグビーで マッショながらだ 手に入れた 母 → 身と心 よくなつたのを 知らぬ母 高校3年男
- ・お母さん いないとわかる たいへんさ 高校3年男 → ありがとう 無償の愛で 頑張るゾ 母
- ・最善を 尽くして 進路 突き進む 高校3年男 → その気持ち いくつになんでも 忘れるな 母
- ・いつからか 母の優しさ 頼りすぎ 高校3年女 → いつの日か 母の優しさ 受け継いで 母

羽曳市教育委員会と羽曳市家庭教育推進協議会、羽曳市少年育成センターでは、家庭での豊かな会話と子どもの健やかな成長を願い、「家族川柳」と題し、「子の句（初句）」とそれに返事を返す「親の句（返句）」を一組とする川柳を募集しました。川柳は、5・7・5の17文字の短い言葉で表現します。俳句と違い、季語などを入れる制約はありません。子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で素直に表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり、家族のられあいを深める目的で実施しました。

これは、たくさんの応募作品の中から入選作品・準入選作品をまとめたものです。どれもユーモアのある心温まる作品ばかりです。ぜひご一読ください。

【応募人数】小学生 599人、中学生 504人、高校生 483人（計）1,586人

【入選人数】各学年 5人（高校生については、2~4年生の合同）（計）45人

【準入選人数】各学年 5~8人（高校生については、2~4年生の合同）（計）57人

発行：羽曳市教育委員会

羽曳市家庭教育推進協議会

羽曳市少年育成センター

